

# クレフヤードCXA

## LIXIL 両支持・片支持タイプ・傾斜部品 取付説明書

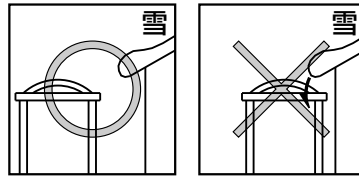
●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

### <施工の前に>

①正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

#### ②設置場所の確認

- ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ②建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。



- ③施工場所の気象条件(風、雪等)に合った商品かどうか確認してください。
- ④強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
- ⑤豎樋の端末以降の排水については、施工店様～施主様でご確認ください。

③規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

④施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。

- ①作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ②作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ③器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ④作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ⑤作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ⑥万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

④組立て、施工途中では

- ①ボルト、ネジは弊社純正品を使用し、規定本数を確実に締め付け固定してください。
- ②取付説明書の順番通り組付けてください。
- ③アルミ製品と銅板やガラス等の異種金属が接触しないようにしてください。

⑤基礎工事について

- ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

⑥製品の改造は絶対にしないでください。

⑦施工完了後は

- ①ボルト、ネジ等に緩みがないか確認してください。
- ②施工中の汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装をしてください。

⑧施工終了後は、取付説明書は施主様にお渡しください。

### <施主様へ>

①積雪が20cmを超えないうちに必ず雪おろしをしてください。

②絶対に屋根の上に乗らないでください。

## ■ 梱包明細書

### ■ 柱セット(両支持)

名 称	員 数	
	支柱	雨樋柱
①支柱	2	—
②雨樋柱	—	2

### ■ 桁セット

名 称	員数		
	基本	単独	連棟
③桁(基本L)	1	—	—
④桁(基本R)	1	—	—
⑤桁(単独L)	—	1	—
⑥桁(単独R)	—	1	—
⑦桁(連棟)	—	—	2

### ■ アーチセット

名 称	員 数	
	端部	中間
⑧端部アーチ	2	—
⑨中間アーチ	1	2
⑩端部アーチカバー	2	—
⑪中間アーチカバー	1	2

### ■ 前後アーチセット

名 称	員 数
⑫前後アーチ	1

### ■ アーチエルボセット

名 称	員 数
⑬エルボ	2
⑭エルボ取付ボルト M6×18六角ボルト(座金付)	8

### ■ 端部キャップセット

名 称	員 数
⑮端部キャップ	2
⑭キャップ取付ボルト M6×18六角ボルト(座金付)	4

### ■ 柱部品セット

名 称	員 数			
	端部	連棟	傾斜端部	傾斜連棟
⑯桁スリーブ	—	2	—	2
⑰柱ブラケット	2	2	—	—
⑱傾斜ブラケット	—	—	2	2
⑲桁連結キャップ	—	2	—	2
⑳アンカー棒	2	2	2	2
㉑柱 桁(傾斜ブラケット)取付ボルト M8×30六角穴付ボルト	4	4	12	12
㉒柱・桁(傾斜ブラケット)取付座金 M8用平座金、バネ座金	各4	各4	各12	各12
㉓柱ブラケット取付ボルト M12×100六角ボルト	4	4	—	—
㉔柱ブラケット取付座金 M12用平座金、バネ座金	各4	各4	—	—
㉕柱連結キャップ取付ネジ φ4×14ナベ	—	4	—	4

### ■ 柱セット(片支持)

名 称	員 数	
	支柱	雨樋柱
⑯片支持柱	1	—
㉗片支持雨樋柱	—	1

### ■ 梁セット

名 称	員 数
㉘梁	1

### ■ 屋根材セット

名 称	員 数
㉙屋根材	2

### ■ 片支持柱部品セット

名 称	員 数	
	端部	連棟
⑯桁スリーブ	—	2
⑳梁ブラケット	2	2
㉑梁キャップ	2	2
⑲桁連結キャップ	—	2
㉓柱・梁取付ボルト M12×30六角ボルト	8	8
㉔柱 梁取付座金 M12平座金、バネ座金	各8	各8
梁ブラケット取付ボルト M8×50六角ボルト	8	8
㉒梁ブラケット取付座金 M8平座金、バネ座金	各8	各8
㉑桁取付ボルト M8×30六角穴付ボルト	4	4
㉒桁取付座金 M18平座金、バネ座金	各4	各4
㉓梁キャップ取付ネジ M4×16トラス	8	8
㉔桁連結キャップ取付ネジ φ4×14ナベ	4	4

### ■ アーチ部品セット

名 称	員 数			
	端部20	端部25	中間20	中間25
⑳中骨	6	8	6	8
㉑屋根押え棧	4	4	4	4
㉒屋根材押え	4	4	4	4
㉑端部アーチ金具 L、R	各2	各2	—	—
㉒中間アーチ金具	2	2	4	4
㉓雨樋キャップ L、R	各2	各2	—	—
⑭アーチ金具取付ボルト M6×18六角ボルト(座金付)	12	12	8	8
㉔アーチ取付ボルト M6×75六角ボルト	6	6	4	4
㉕アーチ取付ナット M6六角ナット	6	6	4	4
㉖アーチ取付座金 M6 バネ座金	6	6	4	4
㉑アーチカバー・中骨取付ネジ φ5×12トラス(樹脂座金付)	53	66	42	52
㉒屋根押さえ棧・雨樋キャップ取付ネジ M4×16トラス	16	16	8	8
㉓コーキング剤	1	1	—	—
㉔取付説明書	1	1	—	—

⑬雨樋セット

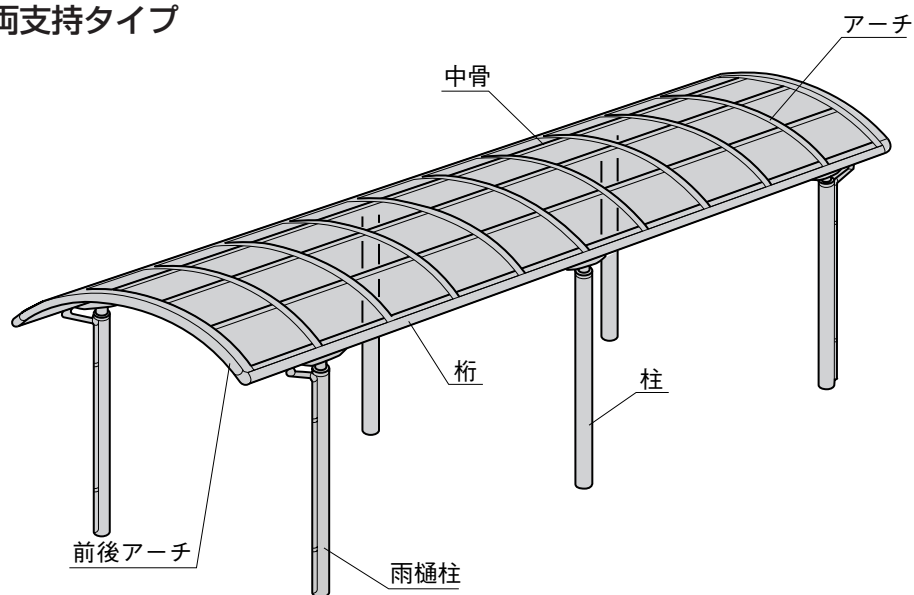
名 称	員 数	
	標準	傾斜
⑤⑩ 堅樋	2	2
⑤⑪ サドル	4	4
⑤⑫ サドル受け	4	4
⑤⑬ アタッチメント	2	2
⑤⑭ アタッチメントパッキン	4	4
⑤⑮ エルボ(100°)	4	—
⑤⑯ 自在エルボ	—	4
⑤⑰ 丸樋 L=300	2	2
⑤⑱ 丸樋 L=55	2	2
⑤⑲ 孔ふさぎ板	2	2
⑥⑰ 接着剤	1	1
③⑰ アタッチメント取付ネジ M6×16トラス	8	8
⑥⑱ サドル取付ネジ φ4×13ドリルネジ	8	8
③⑱ サドル受け取付ネジ M4×16トラス	8	8

⑭片支持雨樋セット

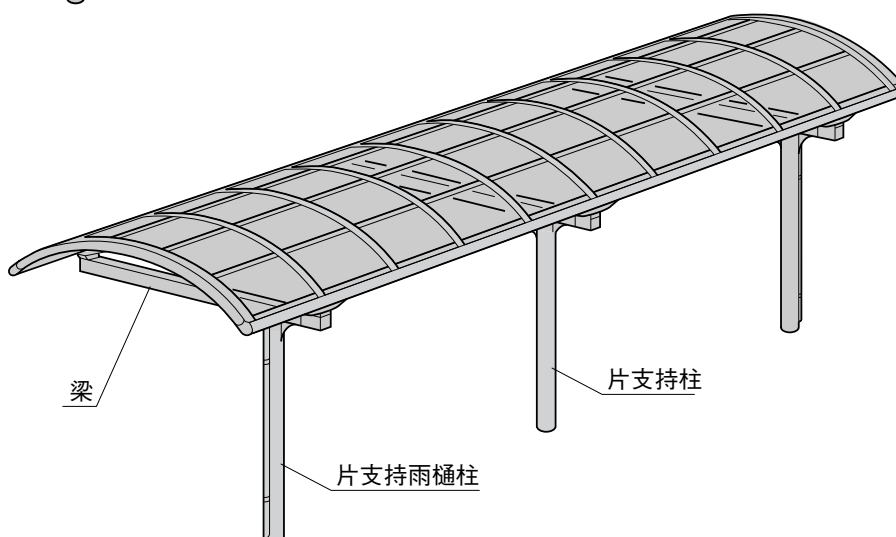
名 称	員 数
⑥⑲ 堅樋	1
⑥⑳ 横樋	1
⑥㉑ サドル	2
⑥㉒ サドル受け	2
⑥㉓ 横樋金具	1
⑥㉔ アタッチメントB	1
⑥㉕ アタッチメントBパッキン	1
⑥㉖ エルボ	2
⑥㉗ 丸樋	1
⑥㉘ 孔ふさぎ板	2
⑥㉙ 接着剤	1
⑥㉚ アタッチメント・横樋・サドル取付ネジ φ4×13ドリルネジ	8
③⑱ サドル受け取付ネジ M4×16トラス	4
⑤⑬ アタッチメント	2
⑤⑭ アタッチメントパッキン	4
⑥㉛ 横樋キャップ	1

# 1. 姿図及び各部名称

## ■両支持タイプ



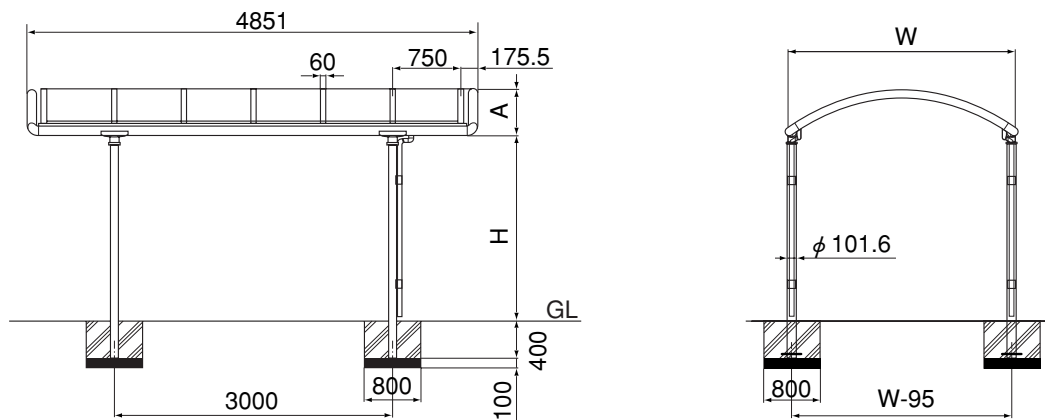
## ■片支持タイプ



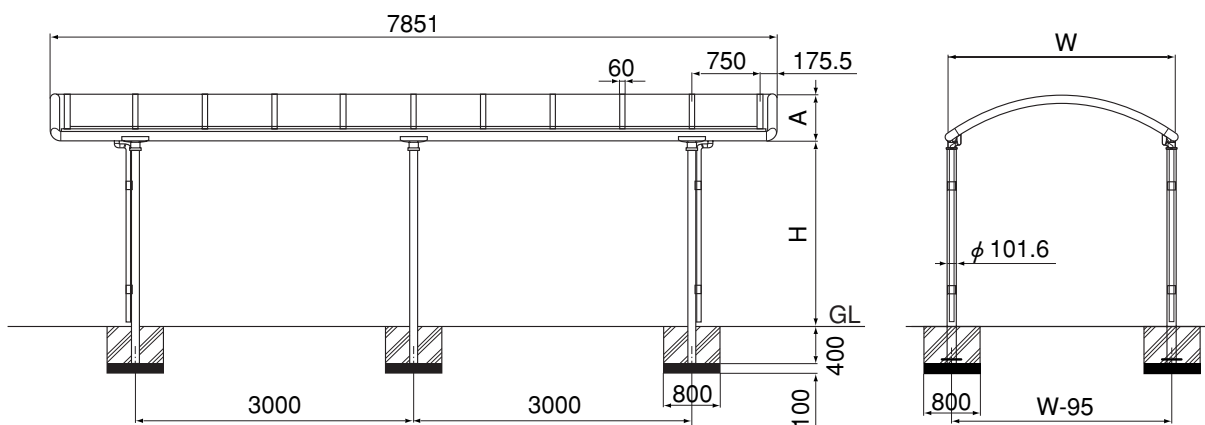
## 2-1. 基本寸法

### 1) 前後アーチ仕様

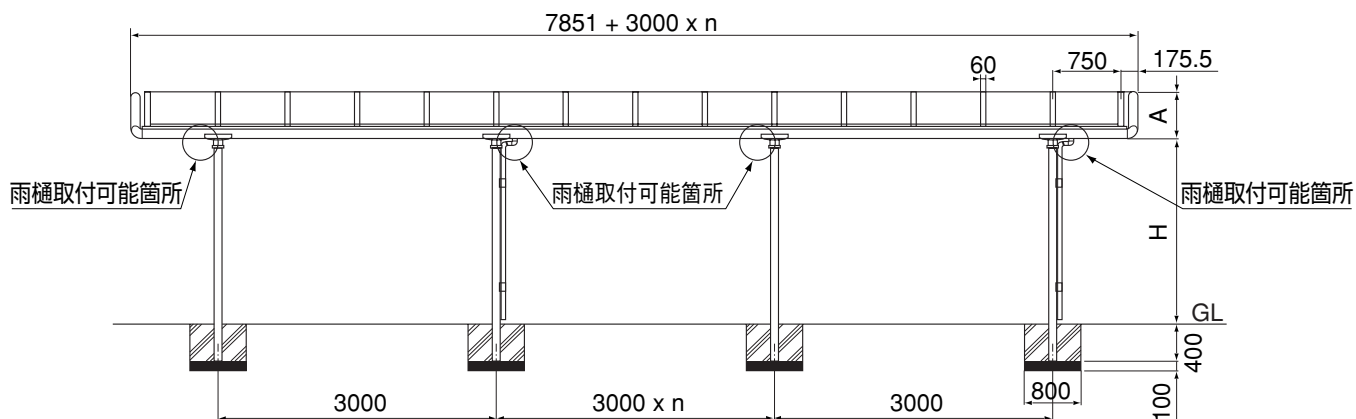
#### 単独タイプ



#### 基本タイプ



#### 連棟タイプ



	W	A
W20	2000	407
W25	2500	488

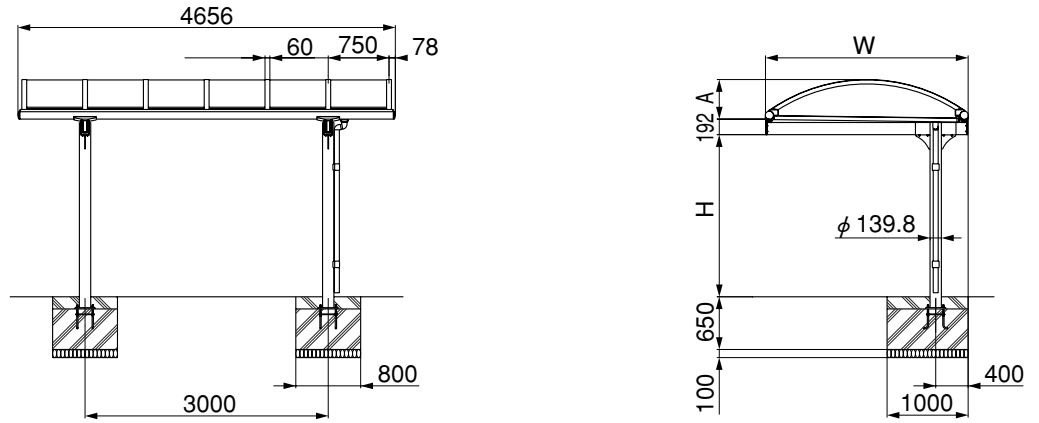
	H
H20	2000
H25	2500

※端部キャップ仕様は片支持タイプもあります。  
(桁から上部の寸法は同一です)

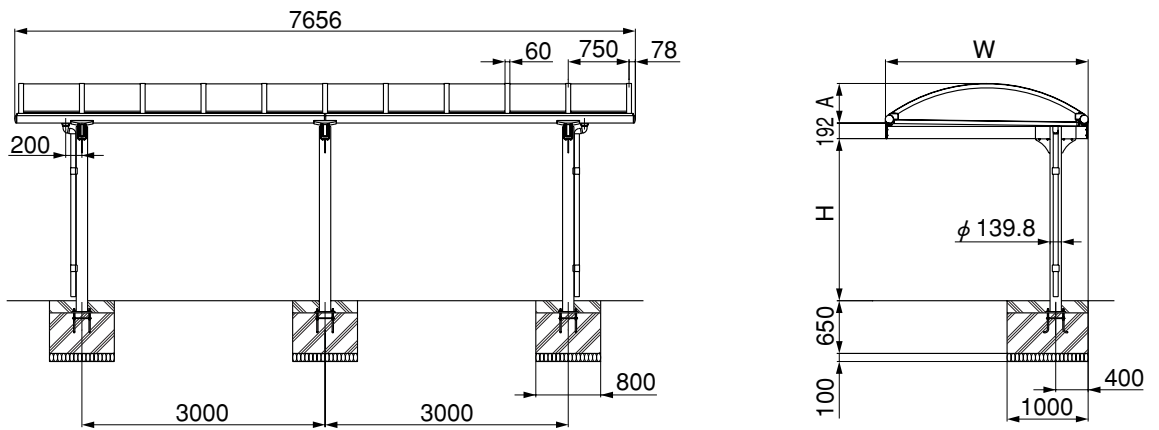
## 2-2. 基本寸法

### 2) 端部 キャップ仕様

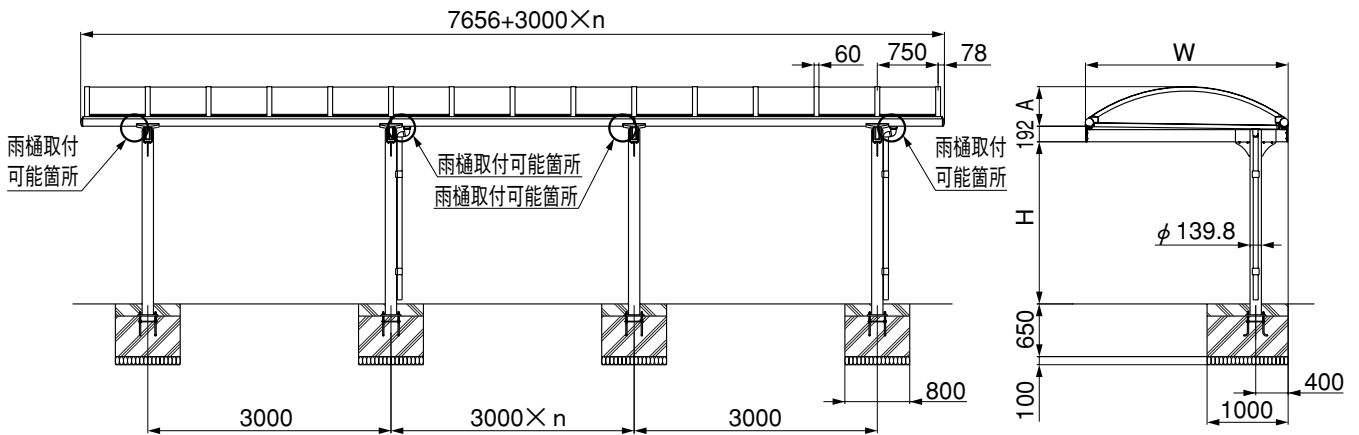
#### 単独タイプ



#### 基本タイプ



#### 連棟タイプ



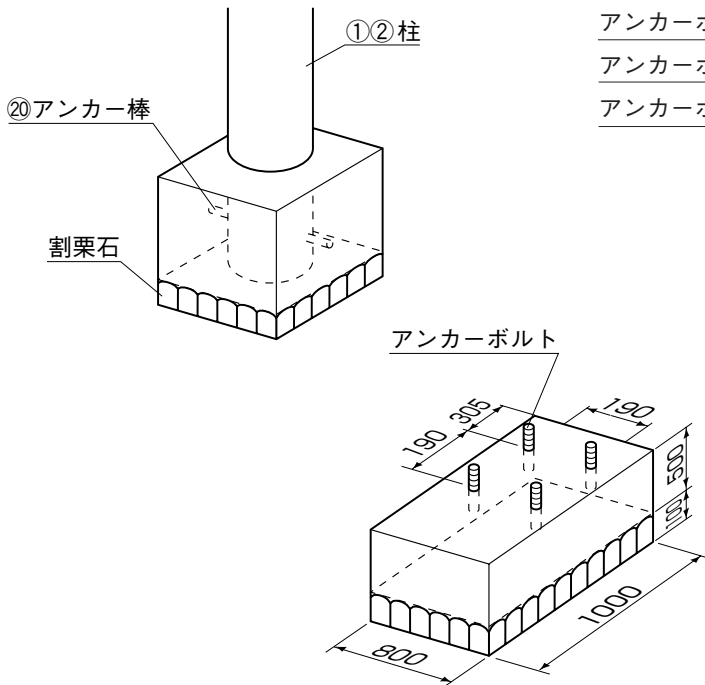
	W	A
W20	2000	407
W25	2500	488

	H
H20	2000
H25	2500

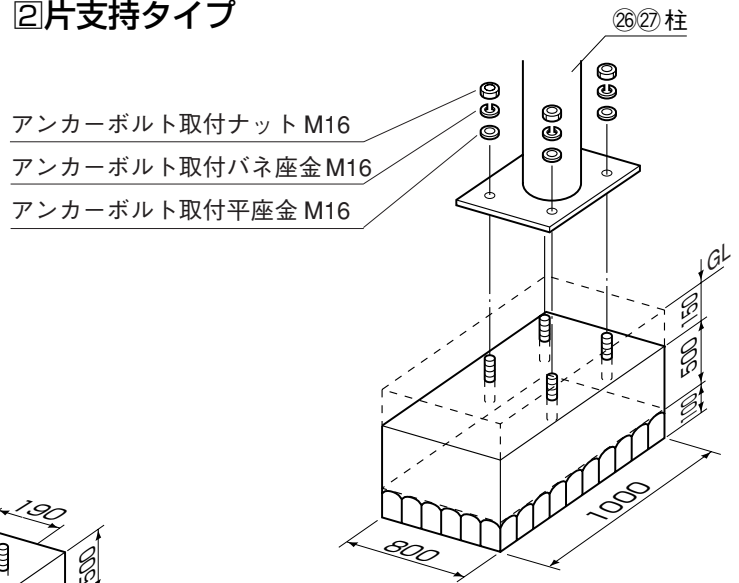
※端部キャップ仕様は両支持タイプもあります。  
(桁から上部の寸法は同一です)

### 3.基礎施工

#### ①両支持タイプ



#### ②片支持タイプ



#### <補足>

- 基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m<sup>2</sup>の時の参考寸法です。

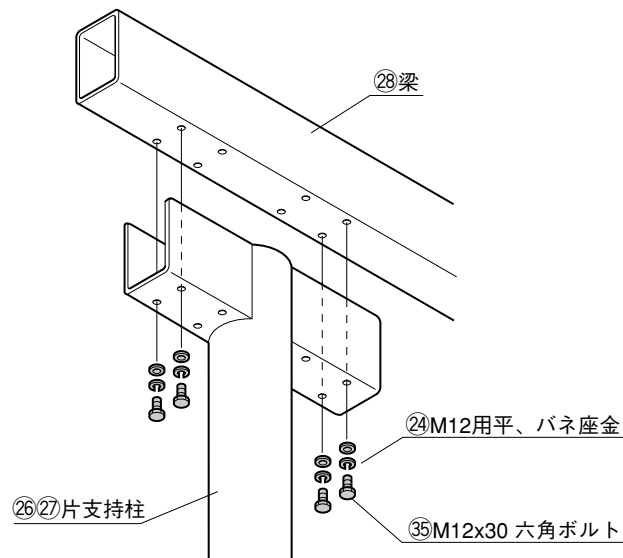
#### —両支持タイプ—

- コンクリート施工は骨組完了後に行ない硬化後、屋根材を組込んで下さい。
- アンカー棒は、必ず施工して下さい。

#### —片支持タイプ—

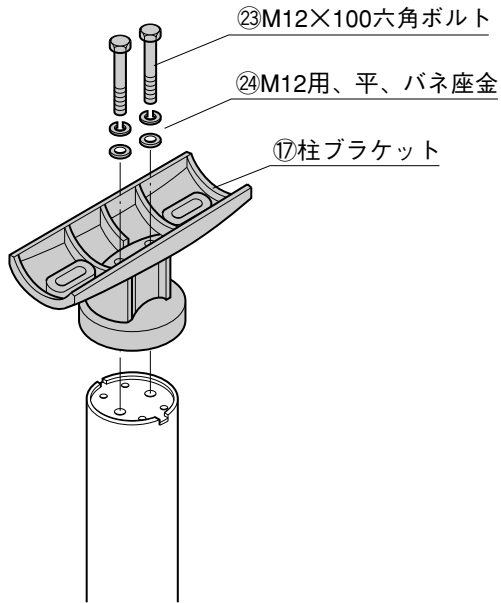
- アンカーボルトは別途アンカーセットで施工します。

### 4.柱～梁の取付（片支持タイプ）

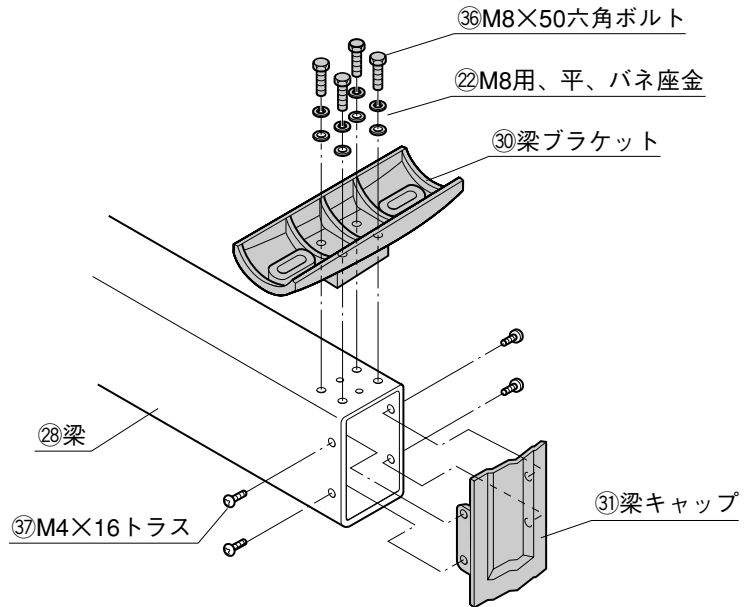


## 5. ブラケットの取付

### ① 両支持タイプ

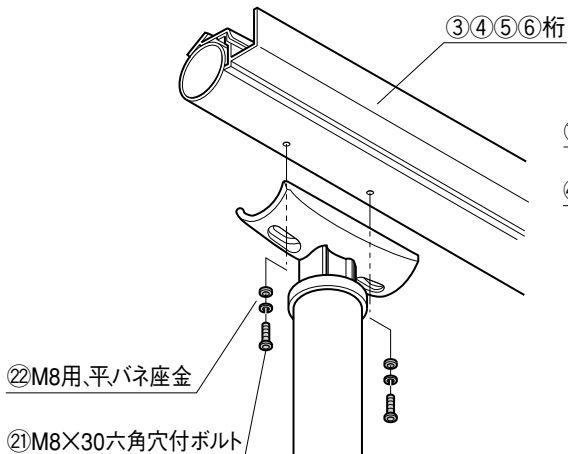


### ② 片支持タイプ

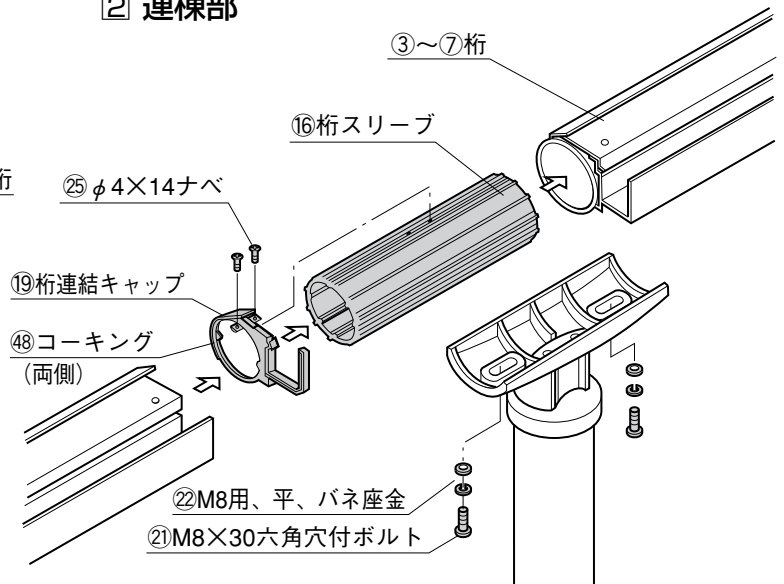


## 6. 桁の取付 (両支持、片支持タイプとも桁の取付方法は同じです。説明図は両支持タイプ)

### ① 端部



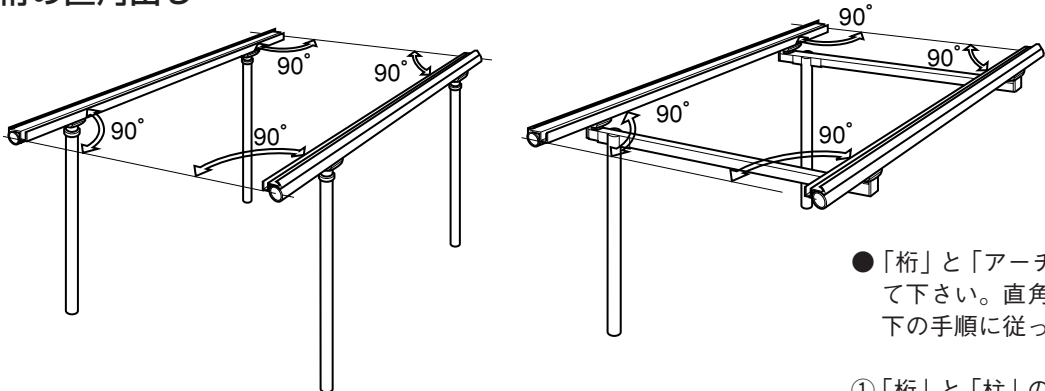
### ② 連棟部



- ① 桁スリーブに桁連結キャップを「φ4×14ナベ」で取付けて下さい。
- ② 桁連結キャップの両面にコーキングを施して下さい。(桁との接合部分)
- ③ 片側の桁をブラケットに仮止めしてから他方の桁をスリーブに挿入して下さい。
- ④ 桁同士のすきまができない様にしてからボルトを締めして下さい。

## 7. アーチ取付

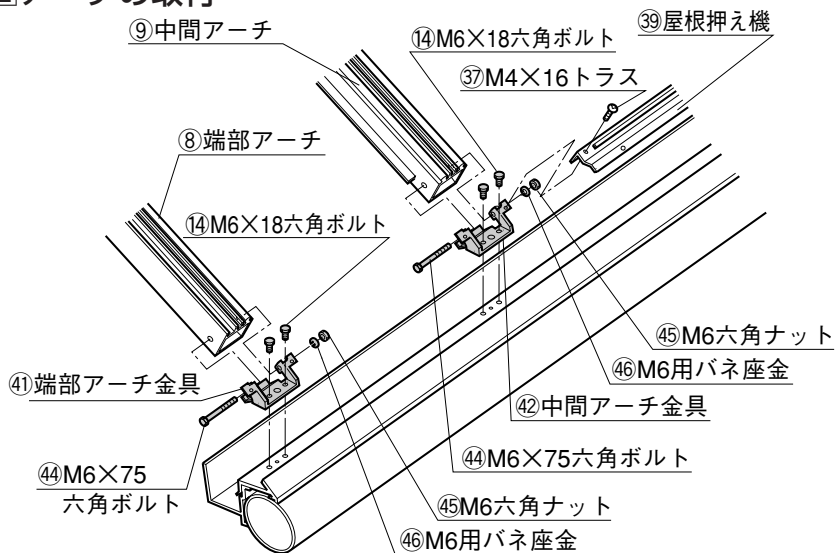
### ① 桁の直角出し



● 「桁」と「アーチ」が直角かどうか調べて下さい。直角が出ていない場合は以下の手順に従って直して下さい。

- ① 「桁」と「柱」の固定ボルトを軽くゆるめて下さい。
- ② 「桁」をいくぶん持ち上げながら直角になる様に左右乗「桁」を移動して下さい。

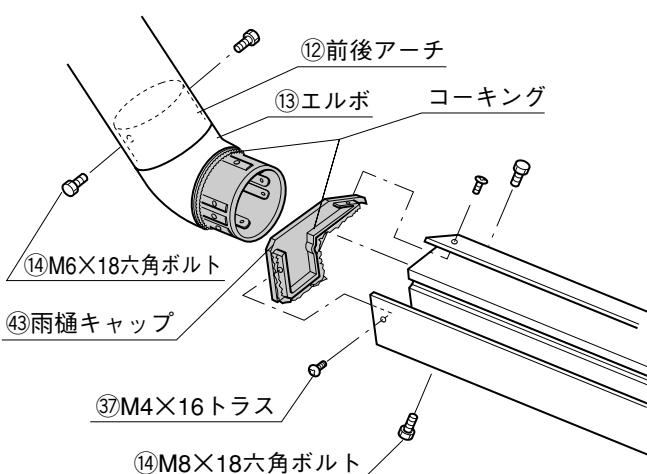
### ② アーチの取付



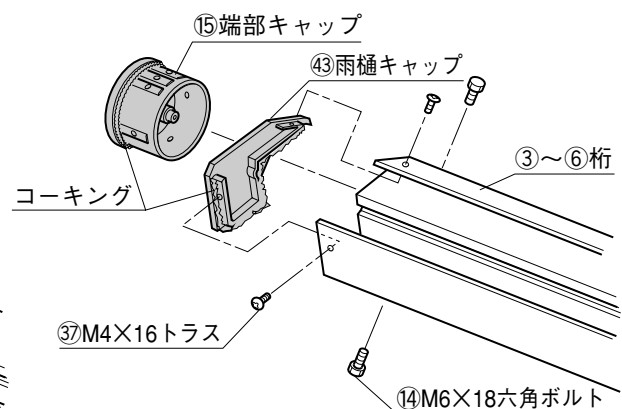
- ① アーチ金具を桁に「M6×18六角ボルト」で取付けます。
- ② アーチをアーチ金具に「M6×75六角ボルト」「M6六角ナット」「M6用バネ座金」で取付けて下さい。
- ③ 屋根押え桟をアーチ金具に「M4×16トラス」で取付けて下さい。

## 8. 桁端部の取付

### ① 前後アーチ



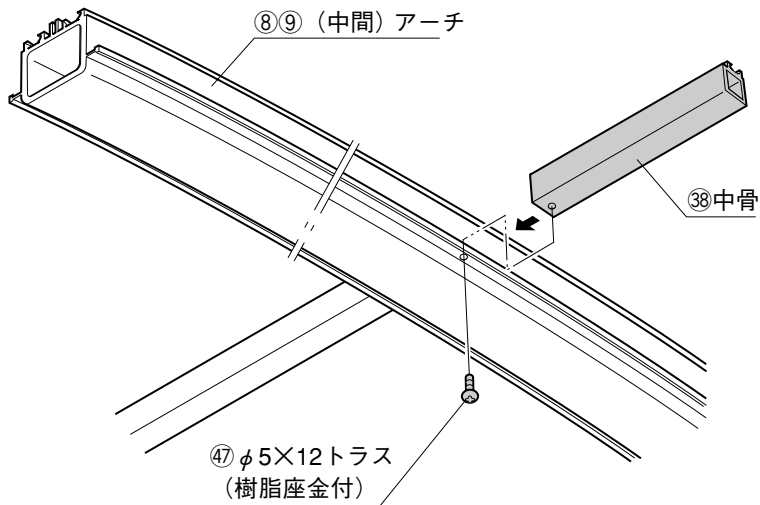
### ② 端部キャップ



- ① 雨樋キャップを桁に「M4×16トラス」で取付けた後、桁との接合をコーキング処理して下さい。
- ② エルボ、端部キャップ共、桁に挿入する部分にコーキング処理してから桁に取付をして下さい。

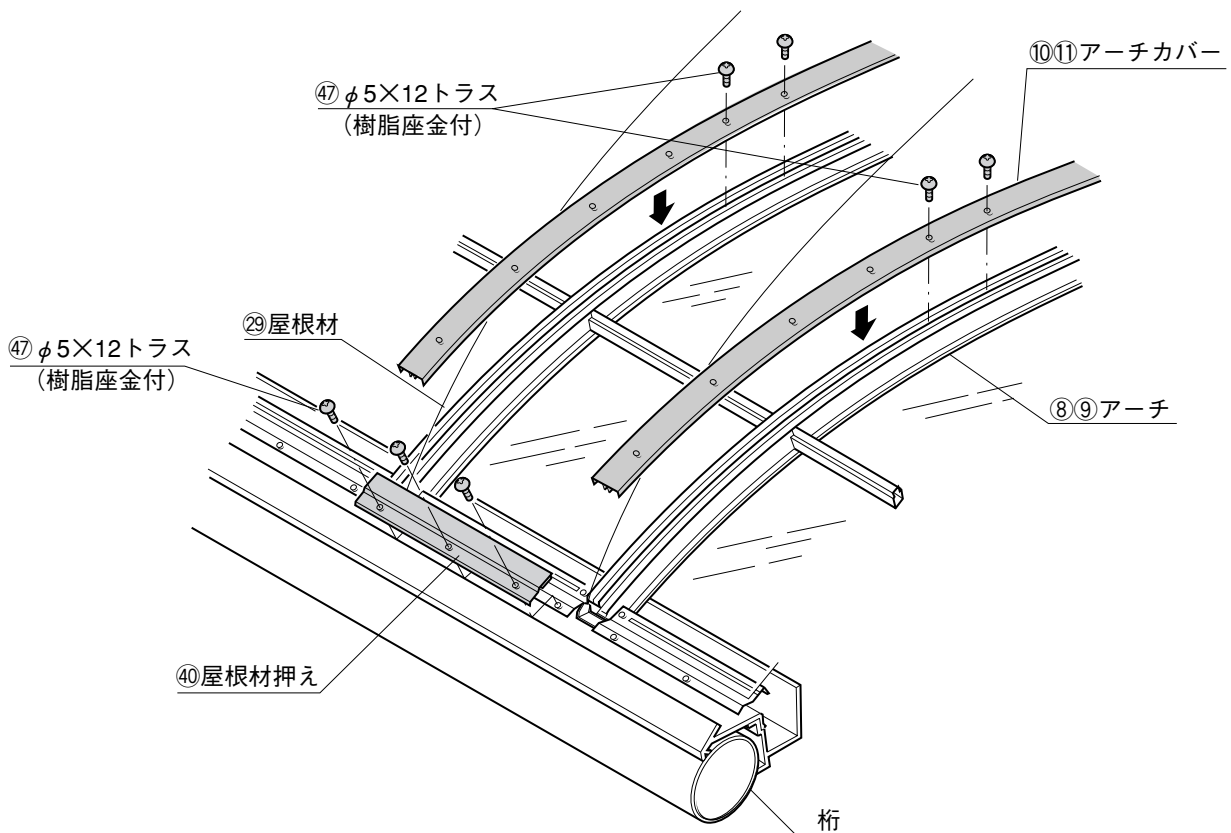


## 9. 中骨の取付け



- 中骨を「φ5×12トラス」でアーチに取付けて下さい。
- 中骨は、端部から順に取付けて下さい。

## 10. 屋根材の取付け

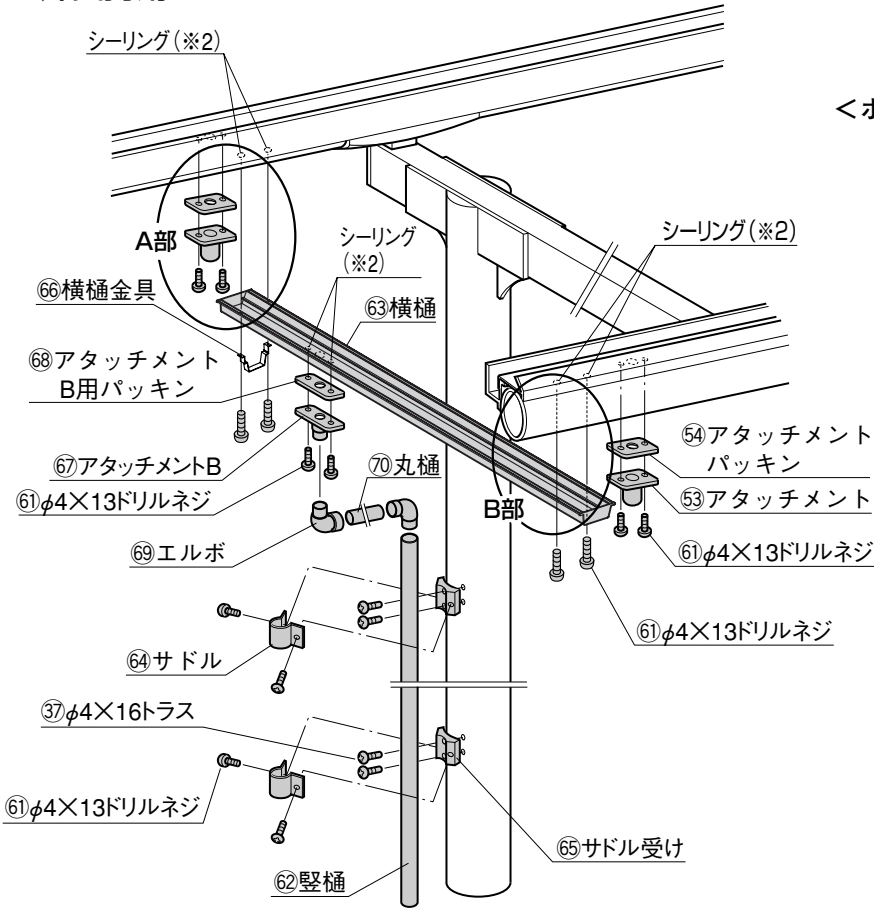


- 注1) 屋根材が片側に寄り過ぎてしまうとアーチカバー、屋根材押えの取付けが困難となります。
- 注2) 端部アーチカバーはクッション材が片側のみ貼付けてあります。
- 注3) 屋根材は、表裏があります。シートをはがす前に確認して下さい。

- ① 屋根材を前後左右均等になる様にアーチにのせて下さい。
- ② アーチカバーはアーチの中央から順に取付けて下さい。
- ③ 屋根材押えを取付けて下さい。

# 11. 雨樋セットの取付

## ①片支持用

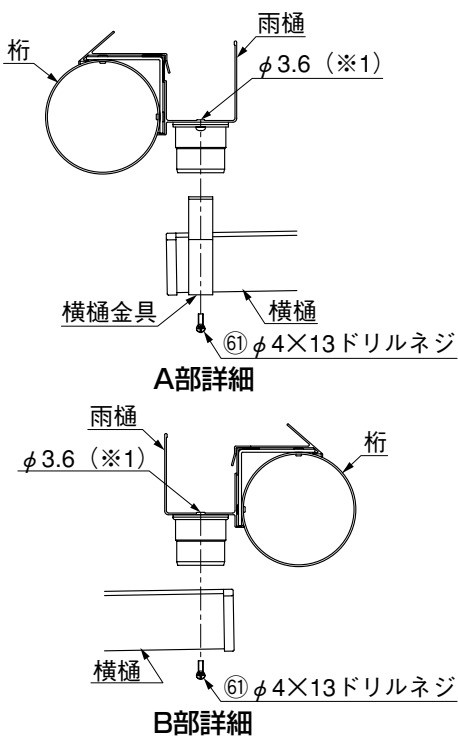
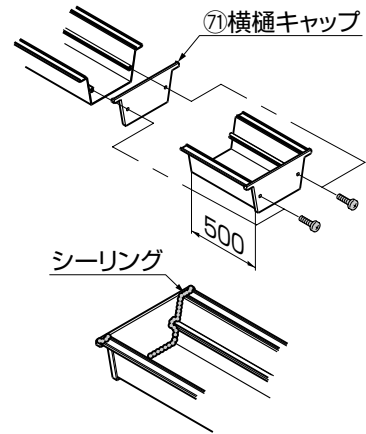


- 丸樋は現場に合わせて切りつめて下さい。
- 各接合部を接着剤で固定して下さい。

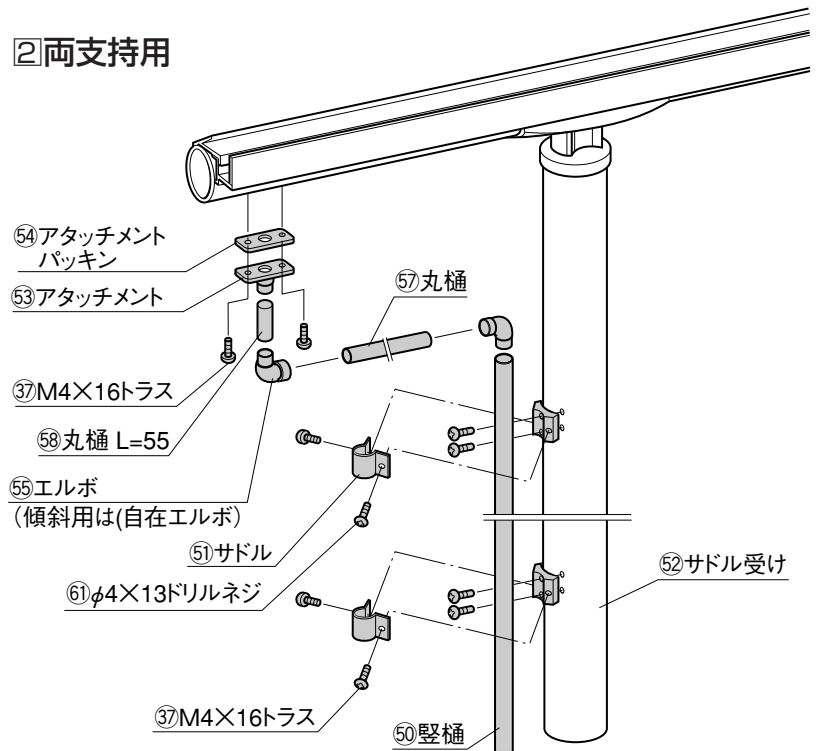
### <ポイント>

- 横樋金具は柱側に取付けて下さい。
- アタッチメント、横樋、横樋金具を取付け後、雨樋部から飛び出しているネジの周囲にシーリングしてください。(※2)

- W20の時は横樋を500mm切断して下さい (アタッチメント孔のない方を切断して下さい) 横樋500mm切断したら横樋キャップを付け直しシーリングして下さい。

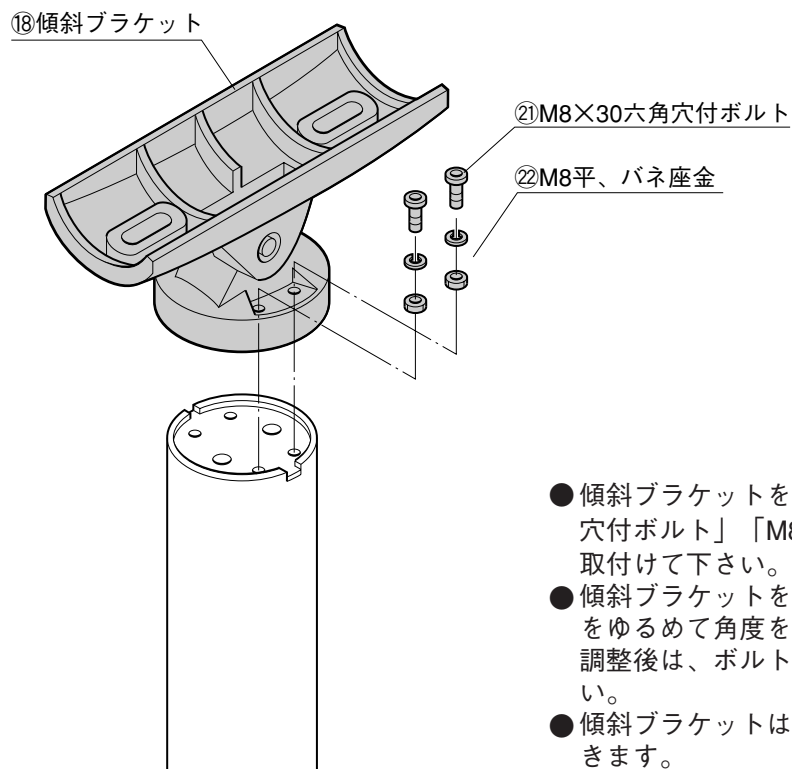


## ②両支持用



- 丸樋 (L=300) は現場に合わせて切りつめて下さい。
- 各接合部を接着剤で固定して下さい。
- アタッチメントを取付けない箇所は、孔ふさぎ板とアタッチメントパッキンでふさいで下さい。

## 12. 傾斜部品の取付



### 工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。硬化後、拭き取りますと表面を傷めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

### 施主様へ

- 積雪が20cmを超えない前に必ず雪おろしをして下さい。
- 絶対に屋根の上に乗らないで下さい。

